

2017年度 第2回 常任理事会議事録

日 時:2017年12月5日(火) 10:30~17:00

場 所:東京都千代田区内神田 3-24-5
エッサム神田2号館 401

- I. 開会 司会進行:大代専務
- II. 会長挨拶:各会員と理事の距離を縮めるのは正副会長の活動次第。地区長から支部長、部会、委員会も同じ。改選に向け、動いていると思うが、引き続き協力をお願いしたい。
- III. 議事
- 議長選出:福川修介副会長 議事録作成人:事務局 長島きよこ
 - 議事録署名人の指名:正副会長より金子宗弘及び監事より斎藤勝実氏を指名
 - 定足数の確認:理事出席 33名(35名中) 委任状25名 監事出席3名(3名中) 顧問1名
事務局2名 合計:39名
 - 資料及び議題の確認・新議題の採択
前回議事録の確認(メール配信済み) 2017年度第1回理事会 第4回正副会長会議 第5回正副会長会議
 - <会議の進め方:竹ノ内関連部会長より>
 - マルチステークホルダートーク 10:40~12:30
ファシリテーター:(株)スタイリッシュアイデア 原様
ワークショップのテーマ:今年を振り返る→未来を見る→来期の計画を立てる

【審議事項】

(1) 入退会について 入会2名 退会5名 <現在会員数 1,222名> 大代 資料P1

入会2名 **全会一致にて承認**

退会5名 **退会 自動承認**

(2) 【墓石部会】石材店のイベントリスト作成 事業報告・決算報告 佐野 資料P6

佐野 イベントリストは部会員からの情報を拡充していくが、墓石部会以外の活動については、予算建てしていない。

IDとパスワードは石産協通信で告知する。

特に意見なし

全会一致にて承認

(3) 【広報委員会】お墓参りの日ポスター事業報告・決算報告

~日本香堂主催の「母の日参り」協賛・「秋分の日はお墓参りの日」2017

上野 資料P11

長江 秋分の日ポスター好評。広島の花問屋からの注文で400枚送ったのは無償なのか?経費はかからないのか?

生花業界は大きなマーケットなので連携するのはよいこと。

上野 送料着払いで在庫のある中から送ったため、追加費用はかかっている。本来は会員を通し広げたいが、別のメディアから広がっていくことも大歓迎。2018年度は予算審議が通っており、母の日参りに合わせ、秋分の日ポスターも3月に一括発送予定。

全会一致にて承認

(4) 【顧客満足推進委員会】「国産銘石カタログ(仮称)」の制作・販売について

能島 資料P15

能島 当会産地証明発行石種限定で40石種前後。石の特徴を掲載し、等級は掲載しない。価格設定に差をつけ、会員以外にも販売。作成にあたり、採石・加工部会の協力を仰ぐ。

井口健 石材の特徴を表すテキストは、過大な表示にならないよう、厳しいチェックを。

新田 物性データの根拠、統一された方法を掲載してほしい。

能島 物性データは現・石材規格カタログの情報を使用するため、データがない石種は採石業者負担で試験場に持ち込み、結果を提出してもらう。統一された検査結果であることなどは、必ず掲載する。

友常 石種の名称は問題点がおおいため、公正取引的な角度からも誤解を招かないよう検証は部会も協力していく。

姫田 等級は掲載しないと、小売店が販売する石種名と差異があるのでは。

能島 協会として等級掲載はできない。個店が見積書などで対応を。

佐野 カタログはどんな仕様なのか?今後石種が増える場合は?会員価格設定高い。中身が見える形でリリースしな

2017年度 第2回 常任理事会議事録

いと売り上げにつながらないのではないか。予算書は今後変わらないのか？

能島 A4サイズ1ページに1石種、ポケットカタログのような体裁。販売店が消費者に図面や見積書と一緒に渡せるようなもの。今後の追加石種は予算の関係上難しいので今回の作成が採石会員増につながるとよい。基本的に予算は変わらない。1部1万2千円(会員)だが、1石種¥300の情報と考えれば決して高いものではない。

柴田 「あくまでもサンプル」だという一文を添えて欲しい。著作権帰属のため複写厳禁とし、CD-ROMなどを付録することも検討してほしい。

能島 写真と実物は違うことや、産地証明が発行できない理由など、お断り文面は委員会をよく検討する。CD-ROMは冊子購入した方向けに第2弾として検討中。

姫田 石種ごとのバラ売りができないか。全国すべての石種をまんべんなく販売しているわけでない。

能島 出荷と在庫管理の煩雑さを防ぐためばら売りはしない。

沓掛 建築業界では圧縮強度に加え、曲げ強度を表示している。単位はニュートン(N)やキログラムエフ(kgf)の表示に変わっている。

能島 物性データは石産協発行の現カタログから使用するので、曲げ強度は考えていない。単位は反映する。

大川 日本の石種は限られているので一種バラ売りではなく、石材小売店こそが全国の石材を積極的に勉強して果敢に販売して欲しい。採石業者のPRになるので顔写真、採石場の風景を載せ、採石業者からの協力金を募ってコストを下げる方法もあるのでは。

大代 一卸業社として、バラ売りではなくすべての石を掲載し、小売店はすべての石種を消費者に販売してほしい。

卸商社では、得意先に販売促進物として購入いただくこともできるため、価格の差は必要。

能島 意見は受け止めるが、ぜひ委員会にも参加して欲しい。

全会一致にて承認

(5)【ジャパNSTONショー2017運営委員会】事業報告・決算報告

井口健 資料P20

井口 申し送りは次年度に引き継ぎたい。

全会一致にて承認

射場 石のお墓の存在感をいかにあげていくかが大きな課題。

(6)【ジャパNSTONショー2018運営委員会】支部助成金交付に関する案内(案)

上野 資料P23

柴田 助成金については特に問題ないが、具体的にどこの支部か。

上野 岡崎、庵治、茨城など、協会からの支部助成金を活用して、産地組合の理解を求めてほしい。中国企業の出展をさえざるためには、協会として予算をとりたい。

全会一致にて承認

(7)【総会】第9回定時総会について

寺尾 P31+A3カラー

大代 討論会ではなく今年は激論。多くの出席をお願いしたい。会場費が破格の値段こそが地方開催のメリット。

姫田 地方開催での問題は宿泊施設の確保。150人の収容ができるのか？別のイベントが重なった場合、不足する可能性がある。4か所でのエクスカージョンは移動が困難。参加者の交通手段が異なるのでよく検討してほしい。

寺尾 エクスカージョン各地域への移動は総会予算の中で見ているが、復路は各自で検討。宿泊施設は今のところ問題ないが、各自が早めに手配してほしい。エクスカージョンは参加者の交通手段を鑑み設定する。

佐野 激論にする工夫は？パンフレットのロゴ「一般社団法人」が消えている、精査を。

竹ノ内 前は参加者からの質問票を、総会内で副会長解答後、書面をもって会員に回答したが、激論の中で回答まで出し、今年以上に活発なものにしたい。

佐野 自分が困らないように総会資料を提出したい。

全会一致にて承認

【協議事項】

(1)【社会調査委員会】石材産地証明書規定について

柴田 資料P33

柴田 「発給規定」はあるが、石材産地証明書自体の運営規定がない。P37に提出した規定(案)をもとにご意見いただきたい。

友常 ①品質表示追記の禁止 ②証明書の管理の良い方法 ③名称の問題 ④年間2000~2500部発給されているが横

2017年度 第2回 常任理事会議事録

這い。使用しない理由を知りたい。①～④についての意見をいただきたい。

望月威男 テーブル10：日本石材協会から引き継いだもの。ただ産地を証明するだけで、品質を証明するものではなかった。生産者への協力と地場産業育成のために経産省の許可を得て、国立印刷局の台紙を使用することができた。

能島 テーブル3：産地証明は保証書と思われるケースがよくある。産地偽装の防止になっている。加工業者名を空白にすることと、等級の記入を求められる。裏面に規定を印刷したらどうか。

望月秀康 テーブル4：なぜ産地証明を使わないか？小売りと卸の温度差があった。小売りに信用があれば証明書がなくてもよい。消費者からの要望があれば補足程度として渡す。

(テーブルごとの意見表は別添-1)

(2) 2018年度 組織について

射場 資料 P39

射場 社会調査、次世代、啓発事業企画調整は発展的に解散。社会調査はみなし墓地、墓地・墓石に関する定点観測を含め墓石部会の中での活動。広報委員会は東京在中委員長ということもあり正副直轄だったが、一定のルールがひかれたため、次年度からは一委員会に。女性ネットワーク委員会(仮)女性がもう少し前に出ていたらお墓離れが進まなかったかも。会員外からの参加資格も。

部会担当副会長2名を3名に。墓石部会の活動分母が大きいため、専任の副会長を置き、企画調整も担ってもらう。

地区担当副会長は現在4名だが今後は2名に減らす方向も考えたい。

柴田 テーブル11：女性ネットワーク是非活用拡大。墓石部会は東西に分割しては？必要などころに予算を向ける組織にし、予算編成委員会だけでなく、決算委員会発足も。支部地区の活性化に力を注ぎ、役員の負担軽減を期待。

白木 テーブル4：地区担副は4人のまま。墓石部会長と担当副会長の職務の違いが不明確。墓石部会での委員会を他にも明記し、顧客満足推進委員会の副会長も兼任しては。

小柴 テーブル10：理事が多すぎる、職務の重複を避けるために地区担副不要。北海道支部をふたつに分けては？いづれにせよもっと整理を。

大代 支部長は1月19日(金)、その他役員は3月19日(月)までに候補者推薦書の提出を。

(テーブルごとの意見表は別添-2)

【報告・周知・依頼事項】

(1) 【北海道地区】地区全体会議 事業計画・予算計画 (2月28日)

赤川 資料 P41

赤川 「消費者が安心してお墓を持つには」のテーマをもってディスカッション。登録料設定について意見があったが、なるべく多くの登録人数を得るため登録料は低く設定している。

議長 正副からの意見が掲載されているので参考に。

(2) 【奈良県・石川県支部】助成金事業 奈良燈花会 石あかりの小径

水野 資料 P45

水野 一般来場者が多く盛大なイベントであった。

(3) 【採石・原石部会】国産銘石アドバイザーについて (2/16・17 青木石材産地・北木島)

三野 資料 P47

三野 今後も継続していきたい事業の第一弾。ぜひ、参加してほしい。

(4) 【輸入卸商部会】日中墓石交流会について 事業報告・決算報告 (11/11・12 中国恵安)

望月 資料 P50

望月 中国側からの値上げの要望があった。

(5) 【広報委員会】夕刊フジへの広告出稿「お墓参りの日」決算報告

上野 資料 P52

上野 本来広告掲載費60万強かかるところ、ソナエに出向しているため無料。パブリッシングとして活用できる。

(6) 【広報委員会】東京オリンピック2020参画プログラムについて

上野 資料 P30

上野 参加することに意義がある。協会として応援プログラムに参加申請した。

(7) 【次世代共育委員会】岡崎ストーンフェア石材交流会 後援について

山口 資料 P60

山口 井口会員拡大委員長も出席。ひとつ結果が出たことが今後にもつながっていく。

(8) 【お墓ディレクター委員会】1級取得者研修会 (2/32・22 岡山)

湯浅 資料 P63

湯浅 研修会講師は金子稚子氏。翌日北木石の丁場見学も行う。

お墓ディレクター検定試験：<本日現在>1級64名・2級155名合計219名の申込み。締め切り2日前だが非常に少ない。他業種からの受検者が年々増えている。

(9) 【顧客満足推進委員会】石産協オリジナル「各種おれいはがき」の制作

能島 資料 P70

2017年度 第2回 常任理事会議事録

能島 6種類のお礼はがきから合計600枚以上を購入していただく。文面はカスタマイズ可。来年から販売開始。

(10) 【顧客満足推進委員会】セミナーキット予約販売について 能島 追加チラシ

能島 本日現在31件¥831,600申込みあり、当初予算達成。支部購入は可能か?という問合せあり。最高額¥54,000(税別)で可とし、各種特典は対象外。

(11) 【公正競争規約検討特別委員会】委員会の進捗状況について 白木 資料P74

白木 設立に向けて8月の常任理事会で承認後、他団体へ協力を依頼し始めた段階。今後、準備会に参加の方を募集する。地元組合のご協力もいただきたい。

(12) チャイルドライン支援金(団体支援) 川本 資料P85

川本 20歳未満の自殺者が増え続けている現状。子どもの相談電話を展開している団体に協賛金1万円を支出。

(13) 仏教会 創立60周年記念事業について 大代 資料P88

大代 射場会長が参加したことを報告

(14) 2018年度事業計画及び予算申請について 大代 資料P89

大代 来季事業計画及び予算書は締切日1月10日(水)。これをもとに、予算編成委員会を1月16日(火)10時半~事務局にて開催。

(15) 2018年度年間スケジュール 大代 資料P92

大代 2018年度4月~6月の会議スケジュール決定。4月新旧合同正副にて7月以降の会議スケジュールを決め、報告。現理事は6月の総会までが任期のため、出席を。

(16) 年会費未納者について 大代 資料P93

大代 北海道支部柴口石材は12/1入金あり。その他18名会費の入金を3月末日まで待つ。

(17) 中国四国地区全体会議より報告 姫田 資料投影

姫田 新聞に掲載あり。無事終了したことを報告。

(18) 九州・沖縄区全体会議より報告 玉田 写真投影

玉田 37名の参加。無事終了したことを報告。

金子 両地区大会に参加。多くの方との交流は有意義な機会であった。

湯口 部会活動が活発化している。

瀬川 1年に3回支部長連絡会議を開催している。次年度の役員候補者を決めたが、各県支部で決定するよう通達済。

大木 指導するむずかしさを考えている。次期南関東地区長は決定している。跡継ぎ問題は大変だが全国組織なので真剣に取り組み、会が充実することを願っている。

森田 駿台トラベルの講義をした。現在お墓ディクター検定試験申込者2割減、このペースでは予算を下回る。建設会社、司法書士など異業種の受検者が増え、石材店が増えない状況。会全体で盛り上げていきたい。

戸部顧問 業界の現状を踏まえ今後の問題に立ち向かって活発に議論していた。現実に増えている墓じまいに対する業界の対応、空き墓地の活用、納骨堂と墓石との競争など真剣に考える必要がある。

現在の産地証明書は協会が証明することで責任を負わないよう、「確認」する立場にとどまり、注意深く除外してきた。今後の活用法についてはご相談承ります。

監事講評

齋藤：中国の石材業の現状を視察。規模が大きいため粉塵や泥水などの公害は切実な問題。

伯井：議事進行敬服します。会議に参加した意識が強い、議論が深まって課題を共有していると感じた。

望月：出席率が良いことに関心。テーブル協議は参加する意義がある。

チェックアウト (グループ内にて感想発表)

テーマ：よかったこと、素晴らしかったこと。

閉会

2017年度 第2回 常任理事会議事録

2017年12月5日

議事録署名人 : 金子 宗弘 ⑩

議事録署名人 : 齋藤 勝実 ⑩

議 長 : 福川 修介

議事録作成人 : 事務局 長島きよ子